

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第155号 2023.3

## 「あいち子ども・若者育成計画2027」を作成しました ～子ども・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会をめざして～



### 愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課

昨今、青少年を取り巻く社会情勢は大きく変化し、核家族化の進行、地域社会のつながりの希薄化、情報化社会の進展、更には新型コロナウイルス感染症の流行により孤独・孤立の問題が一層顕在化するとともに、子ども・若者の自殺、児童虐待、子どもの貧困、ひきこもり、不登校、いじめ問題等、子ども・若者をめぐる課題は大変憂慮すべき状況となっています。

一方で、本県は世界に誇るモノづくり産業を始めとする産業県であり、この強みをさらに伸ばしていくための人材の育成や、グローバル社会で活躍する人材の育成は、愛知の輝く未来にとって重要な課題です。

こうした現状や課題を踏まえ、「子ども・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会」を実現するため、2022年12月に、「あいち子ども・若者育成計画2027」を策定しました。

本計画は、↓こちらを御覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syakaikatsudo/kodomowakamono2027sakutei.html>

## CONTENTS

表紙／「あいち子ども・若者育成計画2027」を作成しました	1
「あいち子ども・若者育成計画2027」の概要	2
「第61回青少年によい本をすすめる県民運動」	3
令和4年度「家庭の日」県民運動啓発ポスター入賞者の紹介	4～5
「子ども・若者育成支援県民運動」の実施／「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」の実施	6
「第44回少年の主張全国大会」への愛知県代表者出場／「あいちの未来をつくる子ども・若者育成支援フォーラム」の開催	7
内閣府表彰受賞者の紹介／「みんなのネットモラル塾」の動画をYouTubeで公開しています	8

### 県民会議総会

日 時 2023年6月2日(金)  
午後1時30分

場 所 愛知県三の丸庁舎  
8階大会議室

※新型コロナウイルスの感染状況によって、開催方法等が変更となる場合があります

## 「あいち子ども・若者育成計画2027」の概要

### ■計画期間

2023年度から2027年度まで(5年間)

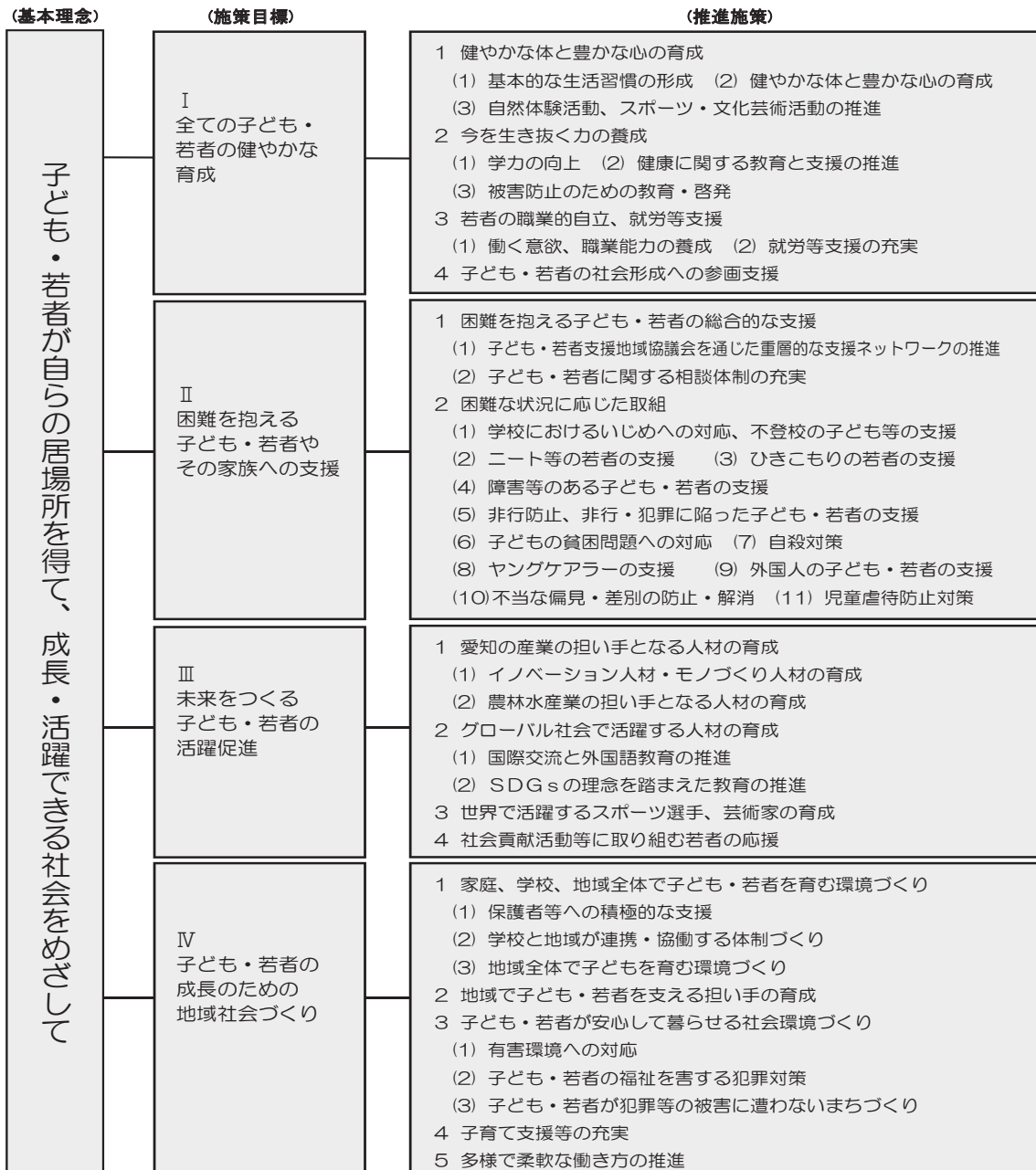
### ■計画の性格、位置づけ

- ・愛知県が、子ども・若者の健やかな育成を支援していくための行動指針とし、全ての県民が連携・協力し、地域の実情に応じて子ども・若者の健やかな育成を推進します。
- ・「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「都道府県子ども・若者計画」とし、2021年4月に決定された、国の「子供・若者育成支援推進大綱」を踏まえた中期計画となっています。

### ■計画の対象者

計画の対象となる子ども・若者の範囲は、0歳からおおむね30歳未満としますが、社会生活を営む上で困難を抱える方、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている40歳未満の方も対象とします。

### ■施策の体系



## 「第61回青少年によい本をすすめる県民運動」を実施しました ～「育てよう 豊かな心 読書から」～

県と県民会議では、毎年10月を「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間と定め、「育てよう 豊かな心 読書から」をスローガンに、家庭・学校・地域社会での積極的な運動の展開を図り、関係機関・団体の協力を得て、はがきによる読書感想文・感想画の募集等を実施しています。

本年度も、県図書館1階に推薦図書の展示コーナーを設けていただき、この運動を支援していただきました。

読書感想文の応募結果は以下のとおりでした。全体の応募数は昨年を下回りましたが、多くの学校が授業時間の確保に努めながら、熱心に取り組んでくださった結果、参加学校数はほぼ昨年並みとなりました。

応募いただいた学校等には、愛知県書店商業組合様の協賛により、図書や図書カードを寄贈していますが、全校での取組が特に顕著であった小学校・こども園等には、直接訪問して図書を寄贈しました。

- ◆応募総数 11,864点
- ◆応募内容 学校・園単位応募 11,782点(69校・園)  
個人応募 82点
- ◆寄贈数 図書約1,740冊、図書カード124枚
- ◆訪問校 あおぞらこどもえん(名古屋市)  
豊明市立三崎小学校  
愛西市立立田南部小学校  
大治幼稚園  
新城市立作手小学校  
田原市立田原中部小学校



〈愛知県図書館の展示コーナー〉



〈訪問先の学校・こども園にて〉

## 令和4年度「家庭の日」県民運動啓発ポスター入賞者を紹介します

「家庭の日」県民運動の一環として実施した啓発ポスター募集に県内の小・中・高校生等から12,249点の応募があり、以下のとおり上位入賞者が決まりました。このうち、「生徒の部 特選」の作品を「家庭の日」啓発ポスターに採用するとともに、特選・入選の作品を啓発リーフレットに掲載し、県内の教育機関等で掲示・配布するなど、優秀作品を2月の「家庭の日」県民運動強調月間の啓発活動に活用しました。

### 児童(小学生)の部

#### 特選



3年 碧南市立日進小学校  
渡邊 采倅さん

#### 入選



1年 春日井市立鷹来小学校  
高田 恵那さん

#### 入選



2年 知立市立猿渡小学校  
佐々木 杏菜さん

#### 入選



4年 新城市立東郷西小学校  
高柳 優那さん

#### 入選



5年 名古屋市立八幡小学校  
内垣 寧さん

#### 入選



6年 新城市立千郷小学校  
小野 瑠奈さん

■ 生徒(中学生・高校生)の部 ■

特 選



滝中学校  
2年 北村 梨紗さん

入 選



北名古屋市立天神中学校  
1年 山田 いろはさん

入 選



安城市立篠目中学校  
1年 野々山 太一さん

入 選



一宮市立尾西第二中学校  
2年 安藤 一志さん

入 選



名古屋市立有松中学校  
3年 梶野 桐さん

入 選



一宮市立葉栗中学校  
3年 野口 愛莉さん

毎月第3日曜日は家庭の日  
‘親と子の対話がつくるよい家庭’



## 「子ども・若者育成支援県民運動」を実施しました ～育てよう 自分に勝てる子 負けない子～

全ての子ども・若者は、健やかに成長し、明るい未来を切り拓いていく、かけがえのない存在です。一方、ひきこもり、不登校、少年非行、児童虐待、SNSの普及に伴う犯罪被害など、子ども・若者をめぐる課題は、依然として山積しています。このような課題の解決には、子どもや若者を孤立させず、関係者一人一人が関心を持ち、地域全体で支えていくことが重要です。

県民会議では、内閣府の「子供・若者育成支援推進強調月間」に合わせ、11月を「子ども・若者育成支援県民運動」強調月間と定め、期間中に関係機関、団体において、子ども・若者育成支援のための諸事業、諸活動が集中的に実施されるよう各種活動への積極的な参加を促し、県民運動の一層の充実と定着を図りました。

### 【主な取組】

- 各種広報・Webページ等による広報の実施
- 青少年健全育成大会の開催
- 少年センター補導員による巡回補導活動の実施
- 児童虐待対策セミナー、ひきこもり家族教室、研修会の実施
- ひきこもり、メンタルヘルス、薬物、ギャンブル、アルコール等依存症等の各種相談窓口、相談体制の強化

## 「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」を実施しました ～非行の芽 はやめにつもう みな我が子～

県民会議では、夏期(7、8月)に続き、青少年が有害環境に接する機会が増える冬休み期間(12月20日～1月10日)に、インターネット利用に係る犯罪被害等の防止を重点とした「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)」を実施しました。

運動期間中は、新型コロナウイルス感染拡大に配慮した上で、自治体、関係団体等が相互に協力しながら県民総ぐるみでの青少年の非行・被害防止に向けた各種取組が行われました。

### 【運動の重点項目】

- ◎最重点項目
  - ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
- 重点項目
  - ・有害環境への適切な対応
  - ・薬物乱用対策の推進
  - ・不良行為・初発型非行(犯罪)等の防止
  - ・再非行(犯罪)の防止
  - ・重大ないじめ・暴力行為等の問題行為等への対応

### 【主な取組】

- ・東海ラジオ「AICHI SATURDAY TOPICS」内での非行・被害防止広報の実施
- ・各市町村においてチラシ、のぼり、Webページでの非行・被害防止広報の実施
- ・栄地区で県警と合同補導の実施
- ・青少年が出入りする機会の多い深夜施設、大型店舗等でのパトロールを実施

## 「第44回少年の主張全国大会」に愛知県代表の中学生が出場しました

2022年8月23日に開催した「令和4年度少年の主張愛知県大会」で、愛知県知事賞(最優秀賞)を受賞した、あま市立美和中学校3年の飯田春佳さんが、中部・近畿ブロック代表の一人として、Web開催にて実施された「第44回少年の主張全国大会～わたしの主張2022～」に出場しました。

全国大会開催期間の11月1日から11月30日の間、少年の主張全国大会Webページに主張発表動画が掲載されるとともに、11月13日に全国大会審査結果が発表され、奨励賞を受賞しました。

## 「あいちの未来をつくる子ども・若者育成支援フォーラム」を開催しました

愛知県では、2018年8月に策定した「あいち子ども・若者育成計画2022」に基づき、「子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして」を基本理念に、様々な取組を行っております。この計画では、「未来をつくる子ども・若者の活躍促進」を目標の一つとして、子ども・若者の活躍を後押しすることとしています。その取組の一環として、2022年11月13日に「あいちの未来をつくる子ども・若者育成支援フォーラム」(主催：愛知県、後援：愛知県青少年育成県民会議)を開催しました。

基調講演では、愛知大学の鈴木誠教授より、「子ども・若者が活躍できる地域社会づくり」をテーマに、子ども・若者の活躍には子どもの貧困脱却が必要であり、子どもの貧困脱却支援をどのように実施すべきか、行政や企業等の様々な視点からの支援事例等をお話いただきました。

また、同年7月・8月に開催した「未来をつくるユース会議」の会議報告では、「子ども・若者が活躍できる社会の実現」をテーマに話し合った内容を、愛知県立瑞陵高等学校及び愛知県立豊橋南高等学校の生徒の皆さんに発表いただきました。



〈基調講演を行う鈴木教授〉



〈会議報告を行う瑞陵高等学校・豊橋南高等学校の皆さん〉



さらに、その後のパネルディスカッションでは、愛知大学の鈴木誠教授の進行のもと、「子ども・若者が活躍できる社会の実現に向けて」をテーマに、一般社団法人SDGsコミュニティ代表理事の新海洋子氏、株式会社田村組代表取締役社長の田村太一氏、新城市市民自治推進会議副会長の前澤このみ氏が加わり、それぞれの立場から、子ども・若者が活躍できる社会の実現に向けて、どのような活動をすべきか意見交換を行っていただきました。

参加者からは、「未来を拓く指針が数多くあるディスカッションだった。」「どのような手立てで若者たちを取り込んでいくか、具体的な実践例が聞けてよかった。」等の御感想をいただくなど、子ども・若者の社会参画に向けて、社会全体で何ができるか考える良い機会となりました。



〈パネルディスカッションの様子〉

## 令和4年度内閣府主催「子供と家族・若者応援団表彰」において 西尾市教育委員会が内閣総理大臣表彰を受賞しました

内閣府では、子ども・若者の健やかな成長に資することを目的に、「子供と家族・若者応援団表彰」を毎年実施しています。今年度は、愛知県から推薦した西尾市教育委員会が内閣総理大臣表彰を受賞しました。

人口の約6%が外国人市民である西尾市において、学校と日本語初期指導教室カラフル(プレクラス)、多文化ルームKIBOU(きぼう)の連携を中心とした多文化共生教育体制を構築し、外国にルーツを持つ子ども・若者の、日本社会における社会的自立のための多角的な教育支援活動に積極的に取り組んできたことが評価されました。



写真：内閣府提供

## 「みんなのネットモラル塾」の動画をYouTubeで公開しています

愛知県では、青少年のインターネット適正利用に向けて「青少年のネット安全・安心講座～みんなのネットモラル塾～」を開催しており、フィルタリングの必要性や、インターネット利用に係る家庭でのルールづくりの大切さについて、啓発しているところです。

この「みんなのネットモラル塾」の内容を、より多くの方々に学んでいただくため、同講座の一部をYouTubeで公開しています。ぜひ、ご視聴ください。



動画はこちら↑



スマッホー

### ◆講座動画

みんなのネットモラル塾

<https://youtu.be/kl5q2DYq6YU>

### ◆ミニ動画

①第1回「フィルタリングを活用しよう」

<https://youtu.be/VWHEif2Vjs4>

②第2回「メッセージアプリでのトラブルに気を付けよう」

<https://youtu.be/e8tUpPOSX4c>

③第3回「オンラインゲームでのトラブルに気を付けよう」

[https://youtu.be/xJM14y\\_aml0](https://youtu.be/xJM14y_aml0)

④第4回「誘い出し・個人情報漏えいなどに気を付けよう」

[https://youtu.be/t\\_jYB0I0MKc](https://youtu.be/t_jYB0I0MKc)

⑤第5回「家庭でのルールづくりをしよう」

[https://youtu.be/GpaDgLy\\_fhw](https://youtu.be/GpaDgLy_fhw)